

- ・ 2回培土を確実に実施し、初期生育を確保しましょう
- ・ 培土後、発生している雑草の種類を確認し、除草剤を適切に使用しましょう

1 培土

- ・ 培土の効果を高めるため、2回培土を確実に行いましょう。

培土の効果(1石4鳥！)

- ・ 根域拡大、根粒の増加
- ・ 雑草抑制
- ・ 排水の促進
- ・ 倒伏防止

<1回目>

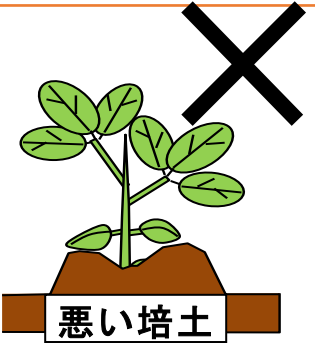
本葉2～3葉期
(播種後 20～25 日頃)
子葉が埋まる程度

初生葉
子葉

<2回目>

本葉4～5葉期
(播種後 30～35 日頃)
初生葉が埋まる程度

株元までしっかり
土をかけよう！



悪い培土

【培土作業のポイント】

- ◆ 作業前に、培土板の調節や耕うん爪を必ず点検(擦り減った爪は交換)しましょう。
- ◆ 乾いたほ場から作業を行い、株元までしっかり土を寄せましょう。
- ◆ 培土でできた溝は、その日のうちに額縁排水溝や排水口にしっかり連結し、速やかに排水されるようにしましょう。

排水溝を連結！



2 雑草防除

- ・ 雑草の種類を確認し、雑草に薬剤が十分かかるように散布しましょう。

表1 草種別除草剤

対象雑草名	薬 剤 名	使 用 時 期	使用方法	10a 当たり散布量	本剤使用回数
1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	ポルトフロアブル	イネ科雑草 3～10 葉期 但し、収穫 30 日前まで	雑草茎葉 散布又は 全面散布	薬量 200～300ml (水 50～100lで希釈)	2回
1年生広葉雑草 (イネ科を除く)	大豆バサグラン液剤 注1)	大豆 2 葉期～開花前 (雑草生育初期～6葉期) 但し、収穫 45 日前まで		薬量 100～150ml (水 100lで希釈)	1回
1 年生雑草	パワーガイザー液剤	大豆出芽揃期～本葉 3 葉期 (雑草発生始期～2葉期)		薬量 200～300ml (水 100lで希釈)	1回
	ロロックス 注2)	大豆 3 葉期以降、雑草生育期 (雑草草丈 15cm 以下)	畦間・株間 処理	薬量 100～200g (水 70～150lで希釈)	1回
	バスタ液剤 注2)	本葉 5 葉期以降、雑草生育期 但し、収穫 28 日前まで		薬量 300～500ml (水 100～150lで希釈)	3回以内

注1) 大豆バサグラン液剤は高温時の使用で薬害が出る恐れがあるため、高温が続くと予想される場合は使用を避ける。

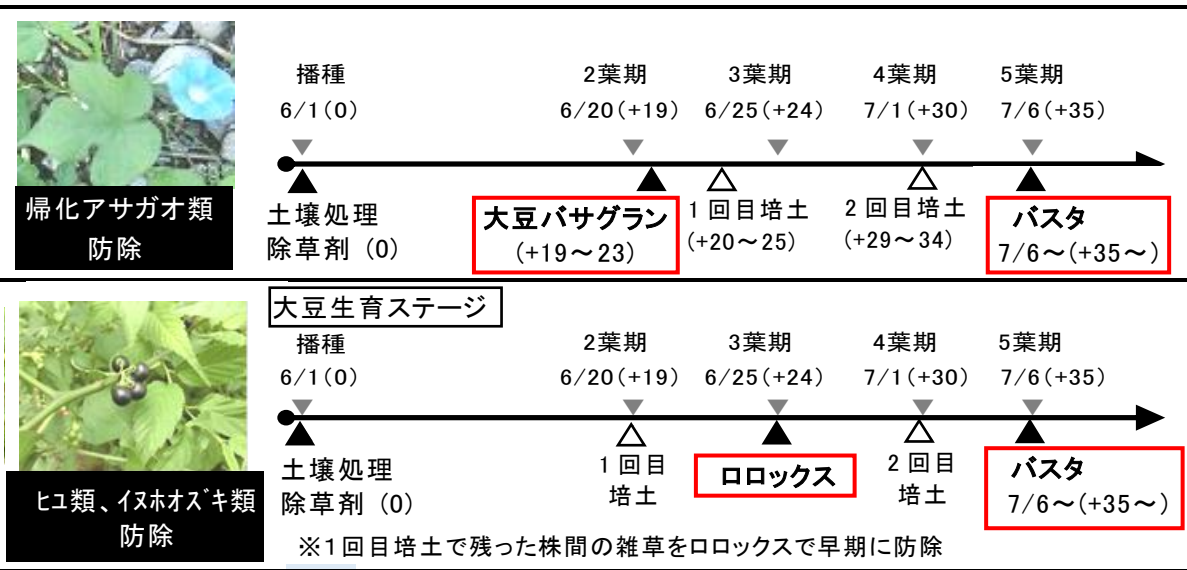
注2) ロロックス、バスタ液剤は非選択性除草剤のため、吊り下げの専用ノズルを使用し、大豆の葉にかからないように十分注意して散布する。

◎難防除雑草(帰化雑草等)の大豆ほ場へのまん延防止対策

管内では、近年、帰化アサガオ類や、イヌホオズキ類等の難防除雑草の発生が増加しています！

- ・ 難防除雑草(帰化 雑草等)の発生がみられたら、雑草が小さいうちに**手取り除草**又は**除草剤**で早めに防除しましょう。
- ・ 抜き取った雑草はそのまま放置せず**ほ場外**で適切に処分しましょう。
- ・ 刈り払う場合は、再生防止のために地際から行いましょう。

表2 難防除雑草(帰化雑草等)の大豆ほ場へのまん延防止体系



農作業の際は、適切な水分・塩分補給やこまめな休憩など、熱中症対策を徹底しましょう！